

# 令和 8 年度 千葉市水道事業会計予算について



令和 7 年度第 4 回

千葉市水道事業運営協議会

令和 8 年 3 月 1 9 日 (木)

千葉市水道局



# 1 総括事項

## (1) 基本的な考え方

- ◎ 中長期経営計画に基づき、「強靱」な水道、水道サービスの「持続」、「安全」な水道という3つの基本方針を踏まえて事業を進めていきます。
- 未普及地区において、**配水管を整備**します。
- 安定給水を確保するため、**配水管及び浄水場施設の耐震化・更新**を行います。

## (2) 業務の予定量

- 給水戸数：2万970戸
- 年間総給水量：470万4,485<sup>m<sup>3</sup></sup>
- 1日平均給水量：1万2,889<sup>m<sup>3</sup></sup>
- 主要な建設改良事業費：拡張事業費400万円、改良事業費8億7,100万円

### (3) 収益的収支の概要 (収益的支出)

※「収益的収支」とは・・・事業の管理・運営に関する収入および支出をいいます。

**【収益的支出】 23億9,900万円**  
**(前年度比 +2億7,600万円)**

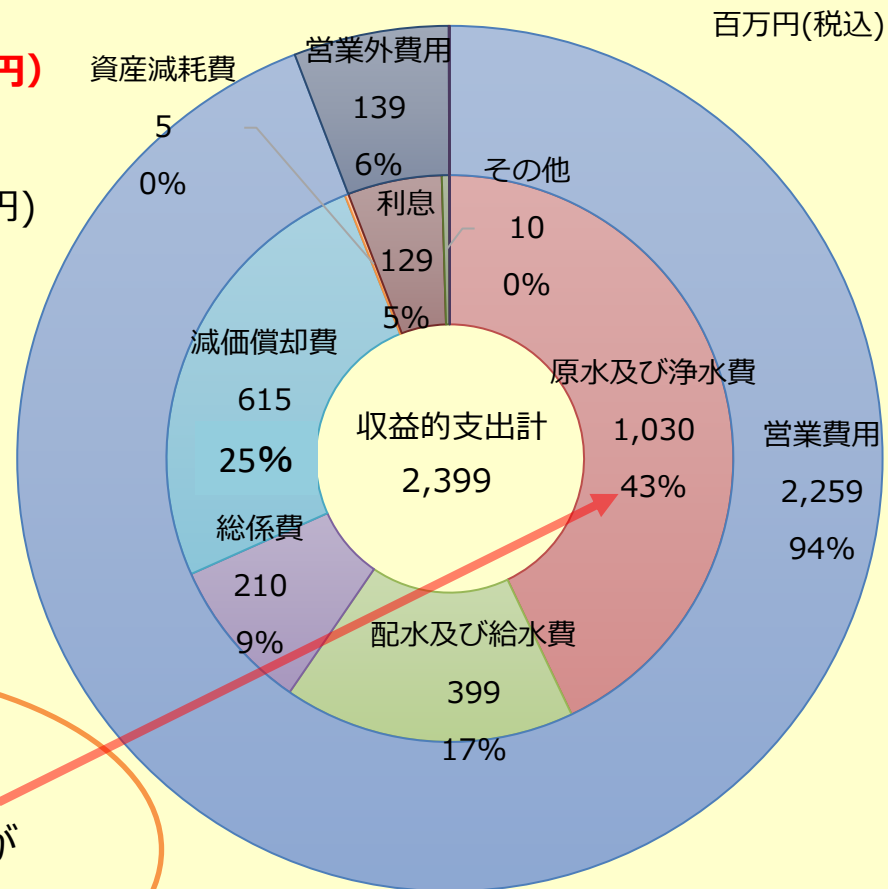
■ 営業費用 22億5,900万円  
(前年度比 +2億5,200万円)

県からの受水費、職員給与費、減価償却費など水道事業を運営していくために必要な費用

■ 営業外費用等 1億3,900万円  
(前年度比 +2,300万円)

事業運営に直接の関係がない費用 (企業債利息など)

原水及び浄水費に含まれる受水費 (9億5,200万円) が全体の4割近くを占めます。



### (3) 収益的収支の概要 (収益的収入)

**【収益的収入】 25億 300万円**  
**(前年度比 +3億,1800万円)**

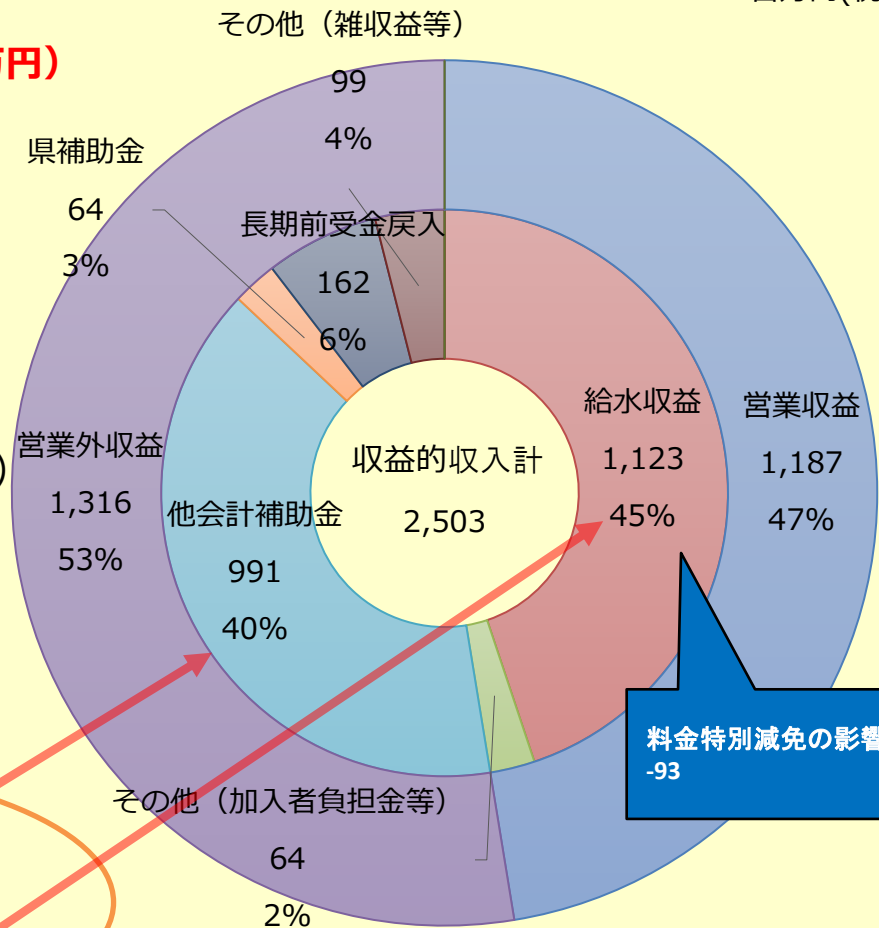
百万円(税込)

■ 営業収益 11億8 700万円  
 (前年度比 +8,000万円)

給水収益 (水道使用料) や加入者負担金など水道利用者からの収入

■ 営業外収益等 13億 1,600万円  
 (前年度比 +2億,3800万円)

一般会計からの補助金など水道利用者以外からの収入



約4割は他会計補助金 (税金からの補てん)  
 利用者負担は5割程度

料金特別減免の影響額  
 -93

# (4) 資本的収支の概要 (資本的支出)

※「資本的収支」とは・・・施設の建設・改良に関する収入および支出をいいます。

**【資本的支出】 21億 3,500万円**  
**(前年度比 +4億3,100万円)**

百万円(税込)

■ 建設改良費 11億6,500万円  
(前年度比 +4億3,100万円)

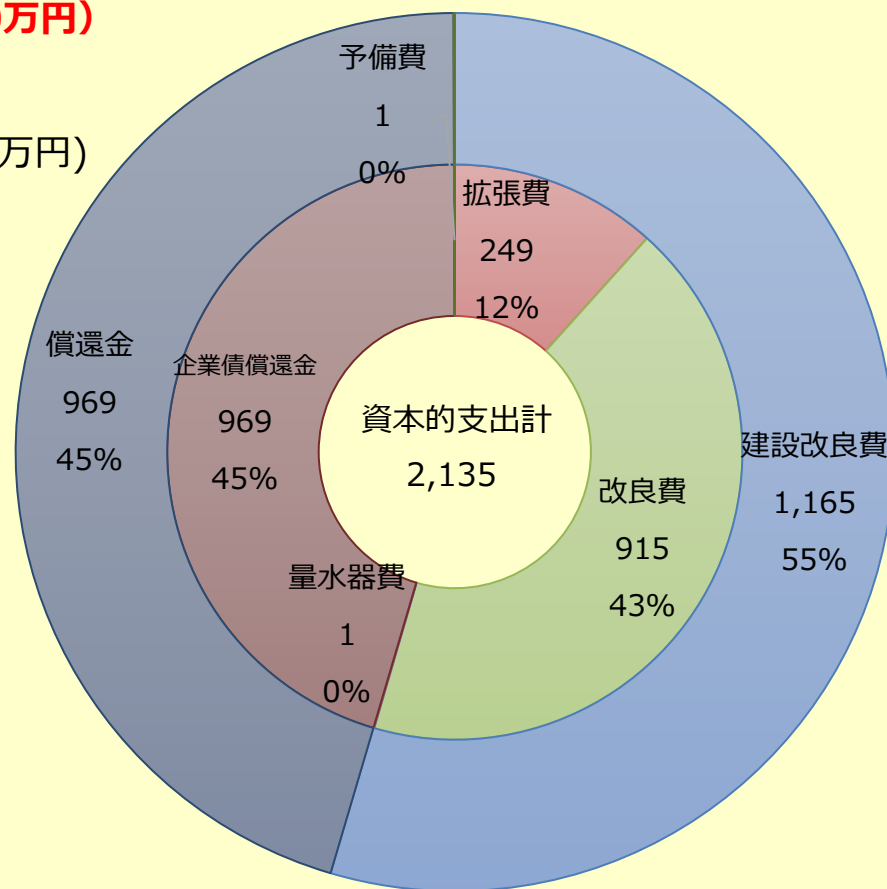
拡張費

配水管整備 (大木戸町)

改良費

配水管更新 (越智町、土気町)  
設備更新 (大木戸浄水場等)

■ 償還金等 9億7,000万円  
(前年度比 ±0)



## (4) 資本的収支の概要 (資本的収入)

**【資本的収入】 16億1,900万円**  
**(前年度比 +4億2,500万円)**

百万円(税込)

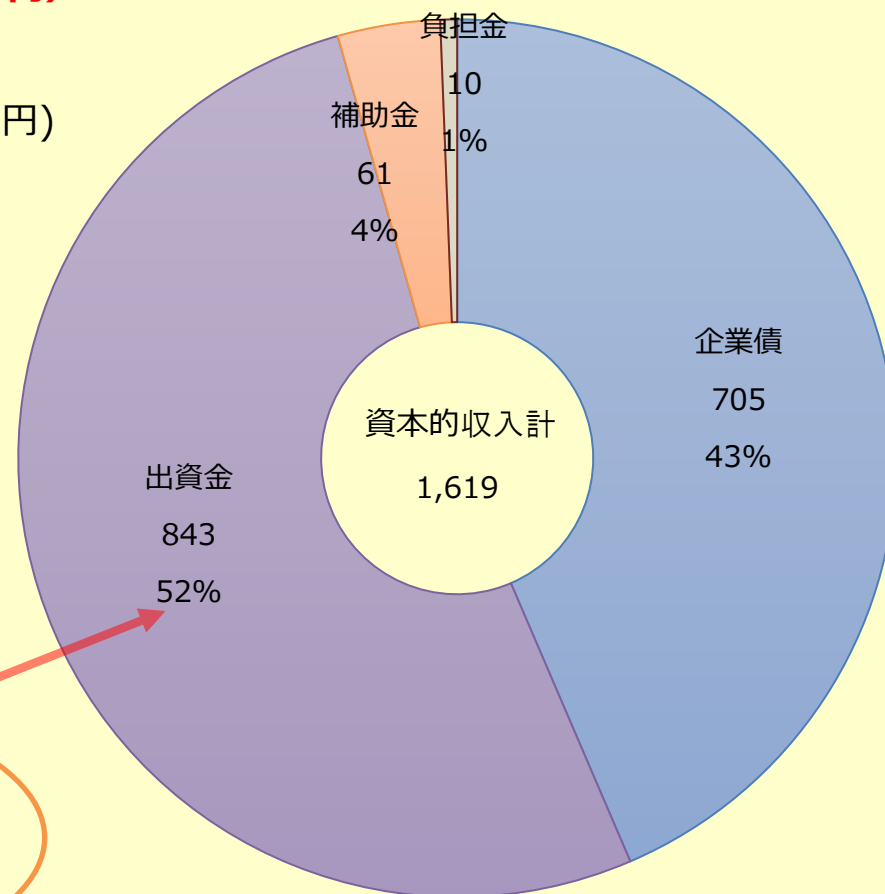
■ 企業債 7億 500万円  
(前年度比 +3億,5700万円)

■ 出資金 8億4,300万円  
(前年度比 ±0)

一般会計からの出資金

■ 補助金 6,100万円  
(前年度比 +6,100万円)

■ 負担金 1,000万円  
(前年度比 +700万円)



収入のうち約5割が「出資」で、そのうち内部留保の不足額として7億800万円を一般会計から繰入れています。

# 2 他会計繰入金について

## (1) 他会計繰入金の推移

補てん財源(内部留保)が枯渇したことから、平成28年度から4条基準外の出資金を計上しており、更に令和2年度から負担金(工事前受金)の計上が終わり、繰入金の総額は16億円を超え、これ以後は概ね横ばいで推移していましたが、令和8年度は管路の耐震化を一層進めていく必要があることなどから、18億円を超える予算となりました。

